

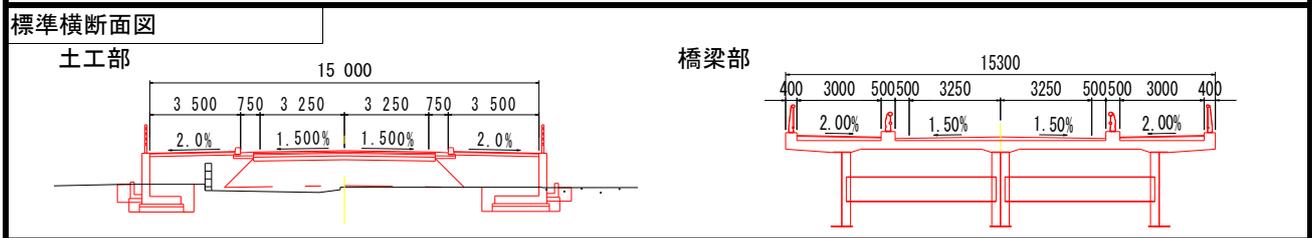
事後評価結果(令和元年度)

担当課:道路整備課
担当課長名:川口 陽一郎

事業名	主要地方道 徳島空港線 中喜来～長岸工区	事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県
起終点	自:板野郡松茂町中喜来 至:板野郡松茂町長岸			延長	1.30km

事業概要
主要地方道徳島空港線は、徳島の空の玄関「徳島阿波おどり空港」へのアクセス道路として、徳島県の観光交流や物流を担う重要な路線である。本事業は、当空港と高速ネットワークの相乗的な利便性向上、利用圏域の広域化、物流の活性化、産業及び地域の振興等を図るため、新設道路として2車線道路を整備したものである。

事業の目的・必要性
西日本高速道路(株)による四国横断自動車道【徳島～鳴門JCT】整備、松茂町による松茂スマートIC整備により、構築される高速ネットワークへのアクセス道路として整備する。



- 事業を巡る社会情勢の変化**
- ・平成22年4月:徳島阿波おどり空港供用開始。
 - ・平成24年4月:高松自動車道【高松東～鳴門間】の4車線化決定。
 - ・平成24年4月:四国横断自動車道【松茂スマートIC】の連結許可。
 - ・平成26年1月:旧空港ターミナルビルを利用した「運転免許センター」が供用開始。
 - ・平成27年3月:四国横断自動車道【徳島～鳴門JCT】及び【松茂スマートIC】の供用開始。

- 事業効果**
- ①徳島阿波おどり空港や国道へのアクセス性向上による工業の活性化（企業の進出等）
 - ②四国横断自動車道と徳島阿波おどり空港や国道とのアクセス性の向上及び広域交通ネットワークエリアの拡大（地域間交流の活性化、松茂スマートIC等の利用者増加等）
 - ③車道及び自歩道整備等による安全性確保（通学児童の安全性確保等）
 - ④津波災害等による避難・復旧を支援（津波避難場所への避難路としての活用等）

事業期間	事業開始年度	H22年度	用地着手	H24年度
	工事着手	H24年度	供用年	H26年度(H27.3)
事業費	41.6億円		計画交通量	7,800台/日
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 46.2億円	総便益	基準年 平成28年
	1.4		64.3億円 走行時間短縮便益:59.2億円 走行経費減少便益:2.5億円 交通事故減少便益:2.6億円	
課題と今後の 事業への反映	当工区では、事前に西日本高速道路(株)、県、町が連携し、地元との調整を行ったことから、用地買収、工事施工など、円滑に進捗した。今後も関係機関及び地元住民と一体となって事業展開を図り、円滑な事業進捗に努める。			

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。